

経営比較分析表（令和5年度決算）

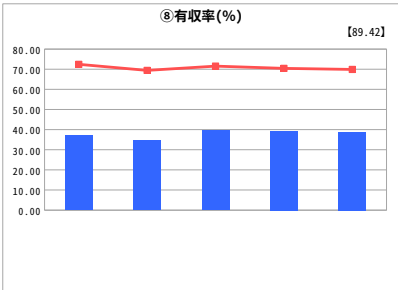
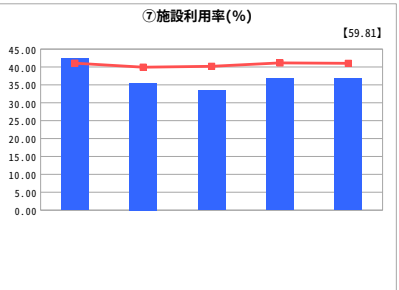
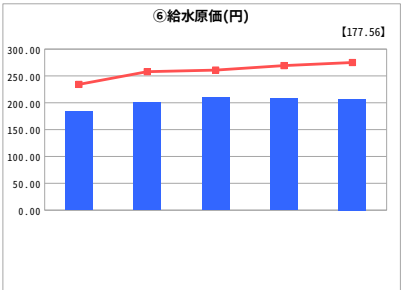
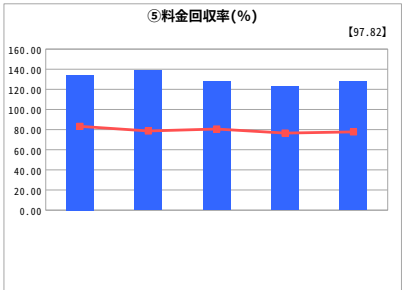
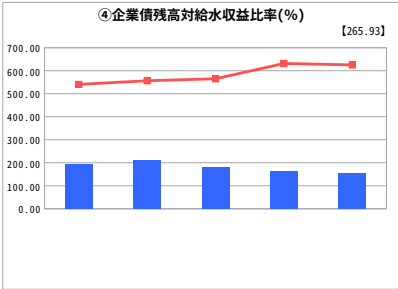
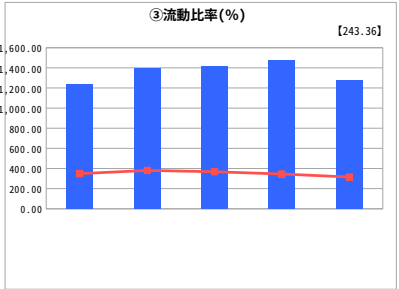
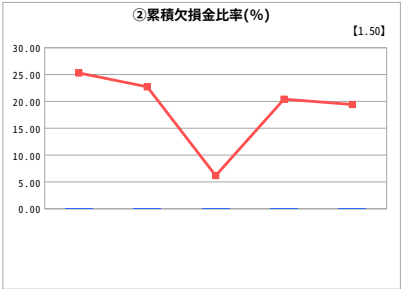
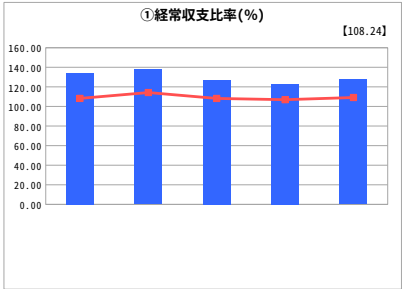
群馬県 嬬恋村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	86.32	32.01	1,606	

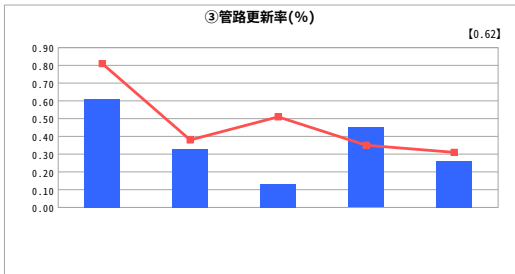
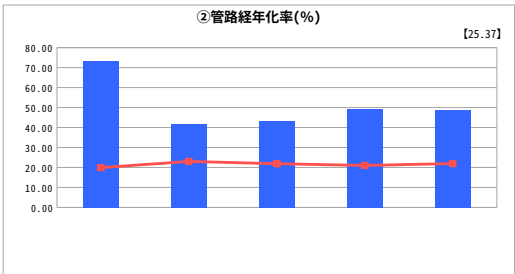
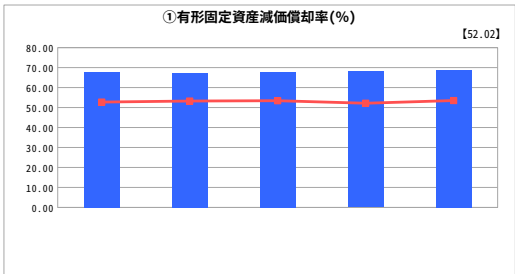
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,117	337.58	27.01
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,914	16.00	182.13

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率 対前年比では給水収益が増えたため上昇している。
② 累積欠損金比率 現状を維持したい。
③ 流動比率 高い値で推移。
④ 企業債残高対給水収益比率 企業債残高が減っているため低下している。
⑤ 料金回収率 給水に係る費用は給水収益で賄われており、今後も維持したい。
⑥ 給水原価 横ばいで推移しているが、平均値と比較し低い。今後も適切な数値を維持したい。
⑦ 施設利用率 平均値を下回った。コロナの影響で別荘地、宿泊施設を中心に配水量が減少したが回復してきているが、依然として低い値。抜本的なダウンサイジングが急務。
⑧ 有収率 依然として低い数値であり、平均値と比較しても大きな差がある。引き続き重要課題として漏水の解消に取り組みたい。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率 ほぼ横ばいで推移しているが、平均値を上回っている。引き続き計画的に施設の更新に取り組みたい。
② 管路経年化率 上昇してきているが、今後も更に上昇傾向で推移すると見込んでいる。
③ 管路更新率 平均値は上回っているが、当該年度は口径の小さな管路の更新であったため、更新距離も伸びている。

全体総括

有収率の改善が急務。効率的な更新の方法を探り、更新とダウンサイジングの両立を図る。また制度改革により一般会計出資債についても検討を行う。
早期に経営戦略を策定し、基盤の強化を図る。